

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 城南製作所					
代表者名	氏名	宮本 聖一	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上田市下丸子866-7					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車部品製造（ドアウィンドレギュレーター 他）					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,130	2,048	1,940	2,004	2,000
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,940	3,820	3,581	3,698	3,690
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	12		12	11	11
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	240				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.johnan-seisakusho.co.jp/approach.html
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ① エネルギー使用に関する法律・条例等を順守するとともに、基準書の整備によるエネルギー使用効率向上に努める。
- ② 設備導入時には、省エネに有効なタイプの設備の導入を積極的に推進する。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

経営会議 1回/月

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,940	t-CO <sub>2</sub>	売上高	1,812.00	単位	千万円
2019年度	調整後排出量	3,940	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	2.17	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
目標年度	目標排出量	3,820	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	2.10	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	目標削減率	3.04	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	年間1%、3年間で3%の排出量削減を目指します。						
第一年度	排出量	3,581	t-CO <sub>2</sub>	売上高	1,421.00	単位	千万円
	削減率	9.11	%	原単位	2.52	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2020年度	調整後排出量	3,581	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-16.13	%	
	削減率	9.11	%				
排出量等の増減理由	+エアリーク改善 +工程不良削減 +生産量減						
第二年度	排出量	3,698	t-CO <sub>2</sub>	売上高	1,445.60	単位	千万円
	削減率	6.14	%	原単位	2.56	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2021年度	調整後排出量	3,698	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-17.98	%	
	削減率	6.14	%				
排出量等の増減理由	①客先（自動車メーカー）オーダーの急激な増減に伴う当社生産において、工場稼働ロスが発生。・半導体供給不足 ・アジア地域ロックダウン影響による部品の供給 ②客先（自動車メーカー）からの納入指示が、自社の生産タイミングの電気需要平準化時間帯と重なったため。						
第三年度	排出量	3,690	t-CO <sub>2</sub>	売上高	1,765.10	単位	千万円
	削減率	6.34	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.09	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	調整後排出量	3,690	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	3.68	%	
	削減率	6.34	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	前年度と同様 ①客先（自動車メーカー）オーダーの急激な増減に伴う当社生産において、工場稼働ロスが発生。・半導体供給不足 ・アジア地域ロックダウン影響による部品の供給 ②客先（自動車メーカー）からの納入指示が、自社の生産タイミングの電気需要平準化時間帯と重なるケースが多発。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	240	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299	空気調和設備の更新	2020～ 2021	5		
2	エネ起	380752	LED導入	2020～ 2021	4		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,940	1	3,581	1	3,698	1	3,690
1,500k1未満								
合計	1	3,940	1	3,581	1	3,698	1	3,690

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	1	1	1	1
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	2	2	2	2
自動車総数	12	12	11	11
次世代車導入割合	16.7	16.7	18.2	18.2

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	マイカー通勤率 100%。実施なし
自転車の利用促進	実施なし。
来客者の交通対策	実施なし。
物流の合理化	共同物流を実施

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2003
	名称	ISO14001:2015	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	1. めっき廃液処理に蒸発濃縮装置導入し、廃棄量の削減 2. 重点3項目の目標設定①ゴミ分別全社徹底 ②製品軽量化 ③めっき廃液削減		1. 2016年導入 2. 継続

1.5 自由記載欄